

平成22年度厚生労働省『こころの健康づくり対策事業』による  
「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」受講者の募集について

この研修は、厚生労働省「平成22年度 こころの健康づくり対策事業 思春期精神保健研修事業」の一環として行われます。

子どもの心の診療をめぐる受診者数は、増加の一途をたどり、その内容も発達障害から、自殺企図、虐待やひきこもりに関連した問題など、多岐にわたる等、医療者に求められる治療・介入技術も高度・多様化してきております。しかし一方でそのような診療を行う医師の教育システムは、我が国においては十分とは言えない状況にあり、レジデントを受け入れている病院では「日々の臨床に追われ、系統だった指導をすることは困難」との意見も多く聞かれます。

そのような背景から、子どもの心の診療に関連した系統講義を全国規模で行うことを考えました。総論的な講義に関しては50分、各論的な講義に関しては30分とし、研修(1)と(2)を併せた計4日間をもって、一通りの内容を網羅するように計画しております。

まだまだ研修体制が十分に確立していない我が国ですので、どうしても各研修機関の「得意分野」というものが偏ってしまう傾向にあります。本研修会の目指すところとしましては、子どもの心の診療に携わって間もない先生（もしくはこの分野を目指そうとしている初期研修医の先生）に、まずこの領域全体の大枠を偏りなく理解していただき、臨床をしていく上での基礎としていただければと考えております。また専門性の獲得に向けた選択の契機となりましたら幸いです。加えてある程度研修を積まれた先生が、自身のサブスペシャリティを形成していくなかで改めて子どもの心の診療全体を眺め、再考する機会をきわめて重要と考えております。

このようなフレーミング、リフレーミングの何れかの機会に直面している先生方に、この研修を利用していただければと思います。

本来ですと各項目30分という設定は十分に理解するには短すぎることは承知しておりますが、そのような意図で運営しておりますので何卒ご理解のほどお願い致します。また学習していく上で、質疑応答の時間が必要との理解もしておりますが、運営上精一杯のスケジュールとなっておりますので、本研修では質疑応答の時間は設けておりません。その点もご理解下さい。

以上運営スタッフ一同が当初から考えていることであります。どうぞご検討の上、実施要項に則してお申し込み下さい。

厚生労働省 平成 22 年度 こころの健康づくり対策事業  
思春期精神保健対策医療従事者専門研修 実施要項

1. 目的 こどもの心の診療を行う医師の育成を目的としており、系統講義の形式での関連領域に関する臨床知識の提供を目指しています。
2. 日時 研修(1)平成 23 年 1 月 11 日(火) 12 日(水)  
研修(2)平成 23 年 2 月 24 日(木) 25 日(金)  
(どちらか一方のみの参加でもかまいません。時間は 9:30-17:00 を予定)
3. 場所 研修(1) 日経ビル 6 F 日経カンファレンスルーム  
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7  
研修(2) 野村コンファレンスプラザ日本橋 5 F 大ホール  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-4-3
4. 受講対象者 初期研修医、小児科医、精神科医  
(コメディカルの希望者に関しては若干名受け入れます)
5. 受講料 無料
6. 定員 研修(1)(2)共に 70 名
7. 研修内容 別紙参照  
総論的な講義に関しては 50 分、各論的な講義に関しては 30 分としまして、研修(1)と(2)を併せた計 4 日間をもって、一通りの内容を網羅するように計画致しております。
8. 修了証書の授与 研修(1)、(2)共に 2 日間欠席なく受講された方には修了証書を授与します。遅刻、欠席、早退などは修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。
9. 申込締め切り 平成 22 年 12 月 3 日(金)まで (消印有効)  
別紙「受講願書」(様式 1 号)、「受講推薦書」(様式 2 号)に記入の上、申し込み先まで郵送下さい。
10. 受講決定通知 期限内に応募があった中から選考の上参加者を決定し、郵送にて 12 月 13 日までに結果を通知します。(連絡が遅い場合はお問い合わせください)
11. その他  
昼食・宿泊については、用意・案内はございません。各自でお願い致します。

【書類送付先・問い合わせ先】

〒272-8516 千葉県市川市国府台 1-7-1

国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科 小平雅基

TEL 047-372-3501 (代) FAX 047-318-4622

(様式1号)

# 受 講 願 書

平成 年 月 日

独立行政法人  
国立国際医療研究センター総長 殿

勤 務 先 \_\_\_\_\_

勤務先所在地 \_\_\_\_\_

連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

連絡先Fax番号 \_\_\_\_\_

Email address \_\_\_\_\_

フリガナ

氏名 \_\_\_\_\_ 印

貴院の厚生労働省 平成22年度こころの健康づくり対策事業「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」を受講したいので関係書類を添えて申請いたします。

希望する研修：以下の何れかに○をつけて下さい

研修（1）のみ

研修（2）のみ

研修（1）と（2）両方

(様式2号)

職 種	1. 初期研修医 2. 小児科医 3. 精神科医 4. その他( )
現在の勤務場所 (該当する番号・記号に ○印を付すこと)	1. 大学病院 2. 総合病院 3. 小児専門病院 4. 単科精神病院 5. クリニック 6. 研究機関 7. 児童相談所など福祉機関 8. 矯正医療機関 9. 教育機関 10. その他( )
上記のとおり相違ありません。 平成 年 月 日 氏名 _____ 印	

## 受講推薦書

上記の者を貴院の厚生労働省 平成22年度こころの健康づくり対策事業「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」受講生として推薦いたします。

施設名 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

代表者(所属長)氏名 \_\_\_\_\_ 印

平成 年 月 日

独立行政法人  
国立国際医療研究センター総長 殿

**思春期精神保健研修事業『思春期精神保健対策医療従事者専門研修(1)』**

第1日目(23/1/11)		
開会式		
齊藤万比古	国立国際医療研究センター国府台病院	子どもの精神発達
	現在交渉中	子どもの心の診療にみられる各病態(広汎性発達障害)
飯田順三	奈良県立医科大学	子どもの心の診療にみられる各病態(注意欠如多動性障害)
原田謙	信州大学	子どもの心の診療にみられる各病態(反抗挑戦性障害、行為障害)
宇佐美政英	国立国際医療研究センター国府台病院	子どもの心の診療にみられる各病態(うつ病性障害、自殺関連事象)
齊藤卓弥	日本医科大学	子どもの心の診療にみられる各病態(双極性障害)
松本英夫	東海大学	子どもの心の診療にみられる各病態(統合失調症)
高橋雄一	横浜国立大学附属市民総合医療センター	子どもの心の診療にみられる各病態(摂食障害)
小平雅基	国立国際医療研究センター国府台病院	子どもの心の診療にみられる各病態(強迫性障害)
金生由紀子	東京大学	子どもの心の診療にみられる各病態(チック障害、習癖)
岩垂喜貴	国立国際医療研究センター国府台病院	子どもの心の診療にみられる各病態(睡眠関連障害)
牛島定信	三田精神療法研究所	子どもの心の診療にみられる各病態(パーソナリティ障害)
第2日目(23/1/12)		
田中英高	大阪医科大学	子どもの心の診療にみられる各病態(心身症)
亀岡智美	大阪府こころの健康総合センター	子どもの心の診療にみられる各病態(子どものトラウマ)
小国弘量	東京女子医科大学	子どもの心の診療にみられる各病態(てんかん)
田中 究	神戸大学	子どもの心の診療にみられる各病態(解離性障害、転換性障害)
奥山真紀子	国立成育医療研究センター	子どもの心の診療特有の問題(児童虐待)
石井のぞみ	愛育病院	子どもの心の診療特有の問題(周産期関連の問題とその後の発達)
近藤直司	山梨県精神保健福祉センター	子どもの心の診療特有の問題(不登校、ひきこもり)
小国弘量	東京女子医科大学	諸検査(脳波検査)
原 裕子	川口市立医療センター	諸検査(画像検査)
加藤元一郎	慶應義塾大学	諸検査(認知機能検査)
入砂文月	国立国際医療研究センター国府台病院	諸検査(心理検査)
田中英高	大阪医科大学	諸検査(身体的諸検査)
閉会式		

## 思春期精神保健研修事業『思春期精神保健対策医療従事者専門研修(2)』

第1日目(23/2/24)		
開会式		
相原正男	山梨大学	子どもの神経発達
笠原麻里	国立成育医療研究センター	母子関係の精神保健
本城秀次	名古屋大学	乳幼児精神医療
齊藤万比古	国立国際医療研究センター国府台病院	治療介入技法(子どもの治療とは)
山下洋	九州大学	治療介入技法(ケースフォーミュレーション)
岡田俊	京都大学	治療介入技法(薬物療法1)
岡田俊	京都大学	治療介入技法(薬物療法2)
生地新	北里大学	治療介入技法(個人力動的的精神療法)
中村伸一	中村心理療法研究室	治療介入技法(家族療法)
渡部京太	国立国際医療研究センター国府台病院	治療介入技法(集団療法)
飯倉康郎	奥村病院	治療介入技法(行動療法)
第2日目(23/2/25)		
山崎透	静岡県立こども病院	治療介入技法(入院治療1)
田中哲	東京都立小児総合医療センター	治療介入技法(入院治療2)
本田秀夫	山梨県中央児童相談所	治療介入技法(発達障害への療育)
牛島洋景	熊本大学	治療介入技法(他機関との連携)
大重耕三	岡山県精神科医療センター	治療介入技法(子どもの精神科救急)
新井卓	神奈川県立子ども医療センター	治療介入技法(at risk mental state (ARMS) への支援)
佐竹直子	国立国際医療研究センター国府台病院	治療介入技法(アウトリーチ的介入)
細金奈奈	もりやクリニック	治療介入技法(parent child interaction therapy (PCIT))
伊東ゆたか	東京都児童相談センター	病院以外の機関での活動(児童相談所)
富田拓	国立武蔵野学院	病院以外の機関での活動(自立支援施設)
榎屋二郎	神奈川医療少年院	病院以外の機関での活動(医療少年院)
高瀬利男	横浜いずみ学園	病院以外の機関での活動(情緒障害児短期治療施設)
閉会式		